

栃木県学体連の紹介

栃木県学体連事務局の栃木県立小山南高校です。本会は、栃木県立小山南高校、茅島有子会長の下、本県学校体育の発展のため、小学校部会、中学校部会と連携をとり活動しています。今回は本校の特色についてご紹介します。

1 沿革と現状

小山南高校は昭和54年（1979）4月1日、全日制普通科男女5学級の高校として開校した。平成12年（2000）4月には、普通科4学級の他に県内唯一となるスポーツ科2学級が設けられた。その後は少子化の影響もあってクラス数は減少し、平成23年（2011）には1学年普通科、スポーツ科各2学級、計4学級となって現在に至っている（ちなみに本年度の男女比はおおよそ普通科が1：2、スポーツ科が3：1である）。なおこの時、新しい制服も導入された。

さらに本校では、少人数授業での実践的かつきめ細やかな指導をめざし、2年から両科とも2クラスを3クラスに分けて、それぞれ担任を配置している。「明るく 寛く 健やかに」の指標のもと、生徒たちは毎日元気に登校し学習や部活動に熱心に取り組んでおり、特に出席率は各学年とも99%以上をキープしている。

卒業生の進路は就職、専門学校、大学・短大がほぼ3分の1ずつという状況である。1年次より計画的にキャリア教育が行われており、また欠席が少ない生徒がほとんどであるため、就職の内定状況はきわめて良好である。

2 県内唯一のスポーツ科

本校スポーツ科では、21世紀の「する・みる・ささえる」スポーツを学びながら将来のスポーツ文化のさらなる発展に貢献できる人材育成をめざしている。そのため、スポーツのもつ本質的・不変的な部分を多くの実習や演習、多彩なスポーツに関する教科活動や部活動を通じて学んでいく。

2年次から2つのコースに分かれるが、このうちアスリートコースは、アスリートあるいはこれを支えるトレーナーなどとして自立できる資質や能力を養うことを目的とし、コーチングコースはスポーツ指導者として活躍できるための基礎理論や価値観を学ぶ。





スポーツ科の生徒は全員、いずれかの運動部に所属している。本校には創立当初からウエイトリフティング部、カヌー部など他校にはない（あるいは少ない）運動部があり、両部ともインターハイや国体など全国大会で優勝するなど、過去に輝かしい成績をおさめている。またこの他サッカー部が県内トップクラスの力を持ち、野球部も近年の躍進がめざましい。

3 ボランティア活動の全校化をめざして

本校では、1人でも多くの生徒が充実した高校生活を送り、その中で自分の適性と将来の目標を見出して進路実現を成し遂げるため、ボランティア活動に積極的に取り組んでいる。

スポーツ科においては、以前からその特色をいかしたボランティア活動（例えば間々田東小の各種体育行事のサポート、間々田地区老人クラブ連絡協議会主催のグランドゴルフの補助など）を継続的に行っており、また各運動部も、周辺の小中学校生を対象としたスポーツ学校を開催したりしているが、近年では普通科生徒の取り組みもめだっている。

例えば音楽部は、近隣の特別養護老人施設「穂の香苑」や知的障害者施設「花見ヶ丘学園」への訪問演奏、地域の祭り「曼珠沙華祭り」や「間々田東公民館祭り」での招待演奏を行っているし、今年度同好会から部に昇格したボランティア部では、間々田駅東口美化運動をはじめ、現在まで十二回もの対外活動を展開している。

「学びかがやき 満足度100%」の実現をめざし、小山南高校の挑戦は続く。

